

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほくらカンパニー博多		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 12日		2025年 9月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 9月 16日		2025年 9月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者さまの「居場所」と感じていただけるように、何よりも信頼関係の構築を大切にしている。	・本児の置かれている環境や状態を把握するために、学校担任や通級指導教室との連携、必要とあれば他の機関とも連携をし、個々の問題を本人やご家族と一緒に考え、本児がのびのびと生活できるよう努力している。	個別の面談は現在も公認心理師が行っているが、心理支援に有効な手法が偏らないように知識のアップデートを随時行って行きたい。
2	・早めに予定表をご利用者ご家族へ郵送することによって、スケジュールをたてやすくしている。年齢別の課題を保護者さまの意向も取り入れ許可を得ながら行っている。	・毎月15日に翌々月のスケジュールを発送している。年齢ごとに出てくる共通の課題は、同じ年齢が集まりやすい日に設定したり、活動の曜日が個々の利用日になるべく行き渡るよう工夫している。	・SSTなどは同じテーマでも参加するメンバーによってよりあった内容に調整しているが、更に個別指導に落とし込み、より深度を深める。
3	・職員は資格保持者が在籍し、障がい児の親も在籍していることから、進路相談時のご提案や生活課題など多岐に渡ってできていること(現在、指導員には保育士、児童指導員、教員免許保持者支援学校教員経験あり等、児発管は公認心理師)	・受験校の選定、情報収集、また今年の保護者さまの集まりでは行政書士をお招きして「成年後見人制度」の勉強会を開催しました	「保護者会」の集まりを当事業所では「ママカフェ」と呼称しているせいか、保護者さまへ「保護者会」として認識されていないようなので、ご説明したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流の機会が持ちにくいこと	・保護者さまが望んでいない方が多い、特に通常級在籍のご家庭や学校へ行き渋りがあるお子さんは地域交流の段階でない方もいる	・幸い地域の伝統行事「山笠」が行われる地区なので、重要な地域の児童との交流の場になっている。他にも商業地区ならではのどんたく祭りもあるので、地域交流の場はあるが、参加できそうな子ども主体のコミュニティを見つけたい
2	・個別の面談で行っているご家族のかかわり方(ペアレントトレーニング等)を全部のご利用者ご家族に発信できていないこと	・毎月発行している「ほくら通信」で、活動内容のご報告はできていと思うが、個別の内容を詳しく掲載することは個人の特定に繋がりがかねないので、十分にお知らせできていない	・ママカフェの中で行い、タイトルを直接的な表現にすることも検討中 例「テーマお家でできるトレーニング」など。
3	・工作の処分期間がつつい長くなりがち	・お子さんの創作物で、中断したりしているものをまた興味が出てくるかも…等の期待があり処分できなく収納場所を圧迫している。	・展示の方法をもっと工夫し鑑賞できるようにすると安全面も高くなるのではないかと思案中。